



## 優秀賞

## お米からできるきりたんぼ

大館市立扇田小学校 四年 越前京花

わたし達は、毎日ごはんを食べています。そのごはんの中には、思い出がたくさんあります。

わたしの思い出は、きりたんぼを最初から作ったことです。ま  
ず最初に、たいたごはんをつぶして、やわらかくなったたら、長い  
ぼうにやわらかくなったごはんをくつつけて、焼きました。甘い  
みそをつけて、みそつけたんぼにしたり、お母さん達が作った、  
きりたんぼなべを食べたことが思い出です。自分達で作ったきり  
たんぼは、ちょっと形は変だったけど、味はいままで食べた中で  
一番おいしかったです。作り方は同じですが、ぼうにつけて焼か  
ないで、手で一口サイズに丸めて、なべに入れて食べる、だまっ  
こにもできます。だまっこは家でかんたんにできるので、わたし  
もよく、お手つだいをします。

このように、ごはんはいろいろなごちそうになります。

わたしの家の周りには、田んぼがたくさんあります。わたしの  
おばあちゃんの家でもお米を作っています。春には、田植えをし  
たり、夏には、薬をまいたり、草かりをしている人達をよく見ま  
す。お米がとれるまでには、半年もお世話しないと、おいしいお  
米を作ることができないんだなあと思いました。

わたし達は、お米を作ってくれる人達に、感しゃをして食べな  
くてはいけないなあと思いました。

わたしのおばあちゃんが、

「そろそろ年だから、田んぼを作るのを、やめようかなあ。」  
と、言っているのを聞いたことがあります。それを聞いて、作る  
人達が少なくなったら、おいしいお米が食べられなくなるので、  
さんねんだなあと思いました。でも今年は、がんばって作って  
るので、今年のお米が楽しみです。いつまでも元気で作ってほ  
しいと思いますが、年をとって作れなくなるときがきてしまいます。  
そのときは、おばあちゃんのおんぼは、どうなってしまふのか  
あと思いました。

もうすぐ秋です。周りの田んぼでは、いねかりの季節で、コン  
バインが動き始めます。いねかりのにおいがしてくると、  
「もうすぐ、新米が食べられるんだなあ。」

と、わくわくした気持ちになります。そして、新米でまた、おい  
しいきりたんぼを作りたいと思います。

